

調 査 票

【就 学 前 児 童 の 保 護 者】

# 秋田市子ども・子育て支援に関する市民意識調査

## 調査票

—就学前児童用—

### 調査票の記入にあたってのお願い

- アンケートは、お子さんの保護者の方がご記入ください。
- 回答は、選択肢に○をつけて選んでいただく場合と、数字などを記入していただく場合がございます。
- 選択肢の場合、選んでいただく数が設問によって異なるので注意書きに従ってください。また、その他を選んだ場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわり書きのない場合は、次の設問に進んでください。
- 記入が済みましたら、お手数ですが同封の返送用封筒に入れて、**6月30日（金）までに**投函してください。
- 回答していただく上で不明な点については、下記までお問い合わせください。

秋田市子ども未来部 子ども総務課 総務担当

電話 018-888-5687  
FAX 018-888-5693  
Eメール ro-chbs@city.akita.akita.jp

※この調査は、株式会社フィデア情報システムズに委託しております。

## アンケート調査票〈就学前児童用〉

### 1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします。

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月月をお伺いします。

平成  年  月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、未子の年齢（平成29年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

人 未子の年齢  歳

問3 お住まいの小学校区はどちらですか。次の中からあてはまる番号を選んでください。あてはまる答えの番号に1-2桁の○をつけてください。

1. 金足西	2. 港北	3. 上新城	4. 下新城	5. 飯島	6. 土崎
7. 土崎南	8. 高清水	9. 寺内	10. 飯島南	11. 外旭川	12. 泉
13. 八幡	14. 旭北	15. 川尻	16. 築山	17. 中通	18. 保戸野
19. 明徳	20. 旭南	21. 旭川	22. 広面	23. 下北手	24. 太平
25. 東	26. 桜	27. 日新	28. 勝平	29. 豊岩	30. 浜田
31. 下浜	32. 御所野	33. 仁井田	34. 四ツ小屋	35. 牛島	36. 上北手
37. 大住	38. 岩見三内	39. 河辺	40. 戸島	41. 雄和	

問4 (1) この調査票にご回答いただいている方はあて名のお子さんからみてどなたですか。母親・父親の場合、(2) の配偶関係についてもお答えください。あてはまる番号にそれぞれ○をつけてください。

(1) 回答者 1. 母親 2. 父親 3. その他 ( )  
(2) 配偶者の有無 1. 配偶者がいる (→ 問5へ) 2. 配偶者がいない (→ 問7へ)

問5 あなた方(ご夫婦)の理想として全部で何人の子どもが欲しいと思いますか(悪いかもしれませんが)。

人 または  人以上

問6 実際にもつもりの子どもは全部で何人ですか。

人 または  人以上

問6-1 問6で問5の数より少ない方になります。実際にもつもりの子ども人数が、理想とする子ども人数より少ないのはどうしてですか。主な理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 仕事や趣味を優先したい	2. 仕事と子育ての両立が難しい
3. 職場の理解が得られない	4. 結婚するのが遅かった
5. 配偶者が子どもを欲しない	6. 妊娠・出産が精神的・肉体的に大変
7. 年齢的に妊娠・出産が難しい	8. 健康上の理由で妊娠・出産が難しい
9. 不妊治療にお金がかかる	10. 出産費用等の経済的負担が大きい
11. 子どもの医療費等の経済的負担が大きい	12. 育児休業制度等の保障が不十分
13. 子どもに対する手当等による経済的援助が不十分	14. 子どもの預け先がない
15. 保育所や幼稚園等にかかる経済的援助が大きい	16. 義務教育にかかる経済的負担が大きい
17. 高等学校教育にかかる経済的負担が大きい	18. 大学教育にかかる経済的負担が大きい
19. 育児が精神的・肉体的に大変	20. 子育てに対する男性の参加が少なく、負担が大きい
21. 育児の社会的支援体制が不十分	22. 居住する住居が狭い
23. その他 ( )	

2. すべての方にお伺いします。

問7 子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします。

下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思えますか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っていますか	B 利用したことはありますか	C 今後利用したいと思えますか
①秋田市版ネウボラ※（市保健所2階子ども健康課内）	はい	はい	はい
②妊娠、出産、育児に関する子ども健康課の各種教室（両親学級、むし歯予防教室、離乳食教室、フレシママのすこやか倉ベルームなど）	はい	はい	はい
③妊娠、出産、育児に関する子ども健康課の相談・家庭訪問（妊娠、出産、新生児、産婦、乳幼児）	はい	はい	はい
④市民サービスセンターの子育て交流ひろばや子ども広場（秋田駅前フォンテ秋田6階）	はい	はい	はい
⑤市民サービスセンター等が主催する乳幼児学級や講座（子育て交流ひろばを除く）	はい	はい	はい
⑥子ども未来センターの子育て相談、養育相談、家庭訪問	はい	はい	はい
⑦子ども未来センターの親子のふれあい広場（よちよち・びよんびよん広場など）	はい	はい	はい
⑧ファミリー・サポート・センター（子どもを預かってほしい方（利用会員）と子どもを預かってくれる方（協力会員）からなる任意制の相互援助活動）	はい	はい	はい
⑨子ども未来センターが発行している子育て情報誌	はい	はい	はい
⑩秋田市ホームページの子育て情報	はい	はい	はい
⑪市立秋田総合病院の小児救急	はい	はい	はい
⑫病児・病後児保育事業（病児中または病児の回復期の預かり保育）	はい	はい	はい
⑬ブックスタート推進事業※	はい	はい	はい
⑭かぞくぶくぶくはく事業※	はい	はい	はい
⑮在宅子育てサポート事業※	はい	はい	はい

※秋田市版ネウボラ：「ネウボラ」とはフィンランドの育児支援制度で、「相談する場」という意味。フィンランドの取組を参考に、平成28年10月に子ども健康課内に開設。母子保健コーディネーター（助産師）が中心となり、相談に応じている。

※ブックスタート事業：ブックスタート参加日時点を4か月以上の0歳児とその保護者を対象に、絵本の読み聞かせを通して親子の絆づくりを支援する秋田市の事業。

※かぞくぶくぶくはく事業：子育て世帯の読書環境づくりを支援するため、様々な内容かつ世代別の本を5冊詰め合わせた福袋的なパックを用意して貸し出す秋田市の事業。

※在宅子育てサポート事業：保育所および幼稚園に通っていない就学前児童を養育している世帯に対し、5つのプランに利用できるクーポン券を発行する秋田市の事業。

問7-1は、問7の①～⑭の設問について、C（今後利用したいと思えますか）で「いいえ」と答えただ方にお伺いします。

「いいえ」と答えた具体的な理由やご意見がありましたら、該当の番号（①～⑭）と理由やご意見を自由に記入ください。

問8 秋田市の子育て環境や子育て支援への満足度の満足度について、当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

満足度が低い	←	1	2	3	4	5	→	満足度が高い
--------	---	---	---	---	---	---	---	--------

問9 子育てに関しての不安感や負担感などについてどのように感じていますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 非常に感じる	2. ときどき感じる
3. あまり感じない	4. 全く感じない
5. その他（ ）	

問10 子育てに関して、日常悩んでいることや、特に不安に思っていることはどのようなことですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 病気や発育・発達に関すること</li> <li>2. 食事や栄養に関すること</li> <li>3. 育児の方法がよくわからないこと</li> <li>4. 子どもの様子に自信が持てないこと</li> <li>5. 子どもと接する時間を十分とれないこと</li> <li>6. 子どもが言うことを聞かないこと</li> <li>7. 話し相手や相談相手がいらないこと</li> <li>8. 自由な時間がもてないこと</li> <li>9. 子どもが療気のときなどに、仕事を休めないこと</li> <li>10. 子どもの教育に関すること</li> <li>11. 子どもの反だちつきあい（いじめ等を含む）に関すること</li> <li>12. 登園拒否などに関すること</li> <li>13. 保育所や幼稚園に、希望した時期に入れないこと</li> <li>14. 家族の協力が少ないこと</li> <li>15. 子育てに関して家族と意見が合わないこと</li> <li>16. 子どもを叱りすぎているような気がする</li> <li>17. 自分自身が子どもを虐待しているのではないかとということ</li> <li>18. 家族が子どもを虐待しているのではないかとということ</li> <li>19. 住居が狭いこと</li> <li>20. 子育てで出費がかさむこと</li> <li>21. その他（ ）</li> </ul>
---

問11

子育てに関する悩みや不安をどなたに相談していますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. その他の親族（親・きょうだいなど）
3. 職場の人
4. 職場の人
5. 保育所、幼稚園、学校の保護者の仲間
6. 子育てサークルの仲間
7. 知人、友人
8. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生
9. 医師・看護師など（医療機関）
10. 子ども未来センターの相談員
11. 母子・父子自立支援員※
12. 民生児童委員※、主任児童委員
13. 保健師・栄養士・歯科衛生士など（保健所・子ども健康課）
14. 児童相談所※
15. インターネットでの相談
16. ハビーネット
17. 相談相手がない
18. 特に相談しようと思ったことがない
19. その他（ ）

※母子・父子自立支援員：母子・父子・姉妹家庭の相談に応じ、自立に必要な情報提供と指導を行うとともに、職業能力の向上および求職活動に関する支援を行う。

※民生児童委員：厚生労働大臣から委嘱されて活動する。地域において、住民の立場から要望を関係機関に伝えたり、一人暮らしの高齢者や障がい者等の訪問・相談などの支援を行う。民生委員が兼ねて、児童福祉に関する活動を行う。

※児童相談所：18歳未満の子どものに関するあらゆる事柄について相談に応じる。相談には児童福祉司や心理判定員がおり、問題の解決を図る。必要に応じて相談への入所および里親委託なども行う。

問12

子育てに関する情報をどこ（誰）から入手していますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（親・きょうだいなど）
2. 隣近所の人
3. 子育てサークルの仲間
4. 保育所、幼稚園、学校
5. 市役所や市の機関
6. 「広報あきた」や市の情報誌
7. ホームページの「子育て情報」
8. テレビ、ラジオ、新聞
9. 子育て雑誌・育児書
9. 子育て雑誌・育児書
10. インターネット
11. コミュニティ誌
12. 知人、友人
13. その他（ ）
14. 情報の入先がわからない

問13

子どもの遊ぶ環境について必要なことはとれたと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○をつけてください。

1. スポーツや遊びなど体を思いきり動かすことのできる場所があること
2. 遊具などの数量、種類が充実していること
3. 施設や設備が安全かつ衛生的であること
4. 遊び場周辺環境が安全かつ衛生的であること
5. 遊び場周辺の道路が安全であること
6. 自然がいっぱいあってほっとできる場所があること
7. 工作や制作活動などができるところがあること
8. 子どもといっしょに遊べる同じ歳くらいの遊び仲間がいること
9. 天候に関わらず遊べること
10. 自宅の近隣に遊び場があること
11. その他（ ）
12. 満足している

問14

子どもと外出の際、求めることはどのようなことですか。次の中から主なものを3つまで選んで○をつけてください。

1. 歩道や信号など道路環境が安全であること
2. 歩道に段差なくベビーカーや自転車の通行の妨げにならないこと
3. 交通機関や施設がベビーカーでの移動に配慮されていること
4. 駐車場が子どもがいる家族や妊婦に優先的であること
5. トイレ等にオムツ替えの席やベビーカーが設置されていること
6. 授乳する場所や、授乳に必要な設備があること
7. 施設内で利用できるベビーカーがあること
8. 親子がくつろげる屋内スペース（キッズルーム、プレイコーナー等）があること
9. 小さな子どもとの食事に配慮された場所や設備があること
10. 子ども連れでも気軽に飲食等できる環境にあること
11. その他（ ）

問15

今後、どのような子育て支援のための施策が必要だと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもを遊ばせながら、子育てについて語り合える場を増やす
2. 子連れでも出かけやすい講習やイベントの場を増やす
3. 子育てに困った時に気軽に相談したり情報が得られる場を増やす
4. 幼稚園を増やす
5. 保育所・認定こども園等の保育施設を増やす
6. 事業所内保育事業・施設（企業主導型保育事業を含む）を増やす
7. 児童館・児童センターを増やす
8. 放課後児童クラブ※を増やす
9. 延長保育（預かり保育）の時間を長くする（ ）時まで） ※例）午後8時の場合、「20」時と記入ください。
10. 休日保育の実施施設を増やす
11. 一時預かり事業（保育所等での一時的な保育）を充実する
12. 病児・病後児保育事業（病氣中または病氣の回復期の預かり保育）を充実する
13. 保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減する
14. 保育所や幼稚園等における教育・保育の質の向上を図る
15. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービス
16. 安心して子どもが医療機関にかけられる体制を整備する
17. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をする
18. 就業時間の短縮やフレックスタイム制※の導入など、企業に対して働き方の見直しを働きかける
19. 仕事と子育ての両立や子育てにやさしい活動に取り組む企業が育つよう働きかける
20. 育児休業や家族看護等休暇の取得を促進する
21. 子育ての講座など子育てについて学べる機会を増やす
22. 妊娠からの健康や食事について学べる機会を作る
23. 保育士や保健師・助産師が自宅を訪問して、子育てのアドバイスをする
24. 行事に参加する際の託児所をつくる
25. 子育てしている親同士で、子どもを預け合う体制づくり
26. 地域の子育て経験者が、子どもを預かってくれるような体制づくり
27. その他（ ）
28. 特にない

※放課後児童クラブ：地域によって学童保育など呼ばれています。保護者が就労等により同居家庭にいない場合に、児童館の下、子どもの生活の場を提供するものです。利用の際は事前に登録し、一定の利用料がかかります。

※フレックスタイム制（自由勤務時間制）：所定の労働時間内で、出・退勤時間を自由に選択できる方式。

問16 封筒のあて名のお子さんを妊娠、出産したときの、以下の項目についての満足度についてお伺いします。それぞれ該当する番号に○をつけてください。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満
(1) 病院や産院の設備	1	2	3	4
(2) 妊娠、出産、育児についての不安への対応	1	2	3	4
(3) 夫の援助などの家庭環境	1	2	3	4
(4) 職場の理解や対応	1	2	3	4
(5) 妊娠中の受動喫煙への配慮	1	2	3	4
(6) 妊娠、出産、育児について学び機会、講座など	1	2	3	4

問17 あなたはゆとりを感じたおとさんと過ごせる時間がありますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. ある
2. 時々ある
3. あまりない
4. 全然ない

問18 あなたは、ワーク・ライフ・バランスという言葉をどの程度ご存じですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 言葉も内容も知っている
2. 言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない
3. 言葉も内容も知らない

問19 問19～20は、問18で「1. 言葉も内容を知っている」を選ばれた方にお伺いします。

あなたは、日ごろ、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて努力していますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

※「ワーク・ライフ・バランスが実現された社会」とは、国民一人ひとりがやりがいがいやや仕事を楽しみながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などに抱いても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に臨んで多様な生き方が選択・実現できる社会のことをいいます。

1. かなり努力している
2. まあまあ努力している
3. どちらともいえない
4. あまり努力していない
5. ほとんど努力していない

問20 仕事と子育てを両立させ、ワーク・ライフ・バランスを推進するために必要な施策はどれだと思いますか。あてはまる答えの番号にすべて○をつけてください。

1. 両立支援に取り組み企業の評価を高めること
2. イクボス※発言など経営者や上司の意識改革を図ること
3. 両立支援に関する制度の周知、セミナー等の開催
4. 代替要員の確保など、企業に対する支援や助成
5. 事業所内保育や延長保育・休日保育など、両立を支援する保育サービスや環境を整備すること
6. その他（ )

※イクボス：部下が働きやすい仕事と子育てを両立できたりがちな働き手が増えることのできるよう、職場の風土づくりに努めるとともに、自らも仕事を辞めさせながら、生活を大切に、楽しむことができる上司のことをいいます。

問21

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じることがありますか。主にあてはまるものを2つまで選んで○をつけてください。

1. 急な残業が入ってしまう
2. 職場の理解が得られない
3. 自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になる時に代わりに面倒をみる人がいない
4. 家族の理解が得られない
5. 子どものほかに面倒をみなければいけない人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる保育所などが見つけられない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. 特にない
9. その他（ )

問22 次にあげる項目について、秋田市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由に記入ください。

- ①市の子育て支援施策について
- ②子育てに関する情報提供について
- ③保育サービスについて

### 3. 母親の方にお伺いします。（父子家庭の場合は記載不要です）

問23 現在の就労状況についてうかがいます。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムでの就労であるが、休業中（産休・育児・介護等）である
3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等での就労であるが、休業中（産休・育児・介護等）である
5. 以前は就労していたが、現在は働いていない
6. これまで就労したことがない

問24 封筒のあて名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたが、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 離職した
  2. 継続的に働いていた（転職も含む）
  3. 出産1年前にすでに働いていなかった
- （→ 問24-1ハ）

**問24-1は、問24で「1. 継続した」を選択された方にお伺いします。**

問24-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていたら、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考えや親族の理解が得られない等就労する環境が整っていない
5. いずれにしてもやめていた
6. その他（ ）

**4. 父親の方にお伺いします。（母子家庭の場合は記載不要です）**

問25 現在の就労状況についてうかがいます。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. フルタイムで就労している
2. フルタイムでの就労であるが、休業中（育児・介護等）である
3. パート・アルバイト等で就労している
4. パート・アルバイト等での就労であるが、休業中（育児・介護等）である
5. 以前は就労していたが、現在は働いていない
6. これまで就労したことがない

問26 あなたは育児や家事をしていますか。あてはまる答えに一番近いものの番号に1つだけ○をつけてください。

1. よくやっている
2. ある程度やっている
3. ほとんどしていない
4. やりたいと思うが、時間が持てていない
5. 全くしていない
6. その他（ ）

問27 父親の育児参加を促進するために何か必要だと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 育児参加に対する父親自身の意識改革
2. 企業における労働条件や職場環境の改善
3. 育児参加を促進する行政の支援策
4. 家族間の活発なコミュニケーション
5. 特に必要はない
6. その他（ ）

問28 父親の育児参加を啓発するために何か有効だと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 父親のための育児教室（フレババ教室等）の充実
2. 父親同士が情報や実体験を共有できる場の設置
3. 父親と子どもと一緒に楽しむ機会の提供
4. 父親の育児の手助けとなるハンドブックやアプリ
5. その他（ ）

**5. すべての方にお伺いします。**

問29 封筒のあて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

1. 利用している（→ 問30へ）
2. 利用していない（→ 問37へ）

**問30～問36は、問29で「1. 利用している」を選択された方にお伺いします。利用していらっしゃらない方は、問37にお迷ってください。**

問30 封筒のあて名のお子さんは、平日のどのような「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園（通常の就園時間の利用）
2. 幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
3. 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
4. 認定こども園（幼稚園と保育施設の両方の機能を併せ持つ施設）
5. 認定こども園（1号）の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
6. 小規模保育事業（少人数の0～2歳の子どもの対象に、さめ細やかな保育を行うもの）
7. 事業所内保育事業・施設（企業主導型保育事業を含む）（企業が主に従業員用に運営する施設）
8. その他の認可外保育施設（幼児園含む）
9. その他（ ）

※市内の教育・保育施設については13ページを参照ください

問31 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。1週当たりの日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（1枠内に数字は1文字）。時間は、必ず「9時00分」や「18時30分」のように24時間制でご記入ください。

現在	1週当たり日数		1日当たり時間		利用開始時間		利用終了時間	
	日	時間	分	時間	分	時間	分	

問32 平日に「定期的な教育・保育事業」を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. お子さんの身の回りの世話をしている方が現在就労しているため
3. お子さんの身の回りの世話をしている方が就労予定がある／求職中であるため
4. お子さんの身の回りの世話をしている方が家族・親族などを介護しているため
5. お子さんの身の回りの世話をしている方が病气や障がいがあるため
6. お子さんの身の回りの世話をしている方が学生であるため
7. その他（ ）

問33 現在、利用している教育・保育事業に対しどのようなように感じていますか。それぞれの項目について、1～4の中から1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	大変満足	ほぼ満足	やや不満	大変不満
①利用料金の感定	1	2	3	4
②利用できる時間	1	2	3	4
③利用できる曜日	1	2	3	4
④施設・環境（園舎・園庭、玩具など）	1	2	3	4
⑤職員等の配置状況（人員体制）	1	2	3	4
⑥職員（先生）の指導力	1	2	3	4
⑦子どもへの接し方・日常の遊び	1	2	3	4
⑧行事（保育参観や運動会など）	1	2	3	4
⑨食事（離乳食やおやつを含む）	1	2	3	4
⑩病気やけがの時の対応	1	2	3	4
⑪保護者への情報伝達	1	2	3	4
⑫悩みごとなどへの相談対応	1	2	3	4
⑬保護者の要望、意見に対する対応	1	2	3	4
⑭安全・衛生対策	1	2	3	4

問34 封筒のあて名のお子さんを主に預ける施設を選んだ際、申し込む際に重視したことについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家に近い	
2. 職場に近い	
3. 施設周辺の環境が良い	
4. 兄弟姉妹が通園している	
5. 園の教育・保育内容や方針に共感できる	
6. 施設長や保育者が信頼できる	
7. 保育士数が十分である	
8. 見学や行事等に参加してみても、子どもたちが楽しそうに過ごしている	
9. 施設（園舎）の設備や広さが充実している	
10. 園庭がある	
11. 近くに大きな公園や広場があり、自然の中で子どもが過ごせる	
12. セキュリティに配慮がされている	
13. 評判が良い	
14. 知人の紹介がある	
15. 開園時間が利用希望にあう	
16. 利用したいサービスを実施している	
17. 親の負担の程度が軽い	
18. 親が運営や行事に関わる機会が多い	
19. その他（ ）	

問35 封筒のあて名のお子さんが現在通われている教育・保育施設に入るまでに、入園申請をしたが入園できず待機した期間がありますか。当てはまる番号に○をつけ、ある方は待機した期間を数字で記入してください。

1. ある（ ）年（ ）か月）  
 2. ない

問36 入園できなかった期間の対応について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母のどちらかが子どもをみていた
2. 仕事をやめた
3. 育児休業を延長した
4. 保護者の親に預けた
5. 保護者の親以外の親族に預けた
6. 友人・知人に預けた
7. 他の教育・保育施設に預けた
8. 一時預かりを利用した
9. ファミリー・サポート・センターを利用した
10. その他認可外保育施設に預けた
11. その他（ ）

問37は、問29で「2. 利用していない」に○をつけた方にお伺いします。

問37 利用していない理由は何か。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. （子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で）利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がかまている
3. 近所の人や父母の友人・知人がかまている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空気がない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため
9. その他（ ）

